

# 税に関する作品の表彰

毎年11月11日から17日までの一週間は「税を考える週間」です



特別賞 肝属地区税務協力団体長連絡協議会長賞  
大根占小学校 5年 永峯 綾乃



特別賞 鹿屋税務署長賞  
田代小学校 4年 今村 愛来

11月11日(日)、プラッセだいわ鹿屋店で「税に関する作品の表彰式」が行われ、本町から3名が受賞しました。

これは、納税意識や税知識の向上を目的に毎年開催されているものです。書道の部では、特別賞を今村愛来さん(田代小4年)と永峯綾乃さん(大根占小5年)が、作文の部では、特別賞を笹貫聖瑠さん(田代中3年)が受賞しました。

※作品は役場本庁ロビーに展示してあります。



左から笹貫聖瑠さん、今村愛来さん、永峯綾乃さん

## 書道の部

- |    |        |    |        |
|----|--------|----|--------|
| 特選 | 田代小学校  | 6年 | 今村 咲司  |
| 特選 | 大根占小学校 | 6年 | 大山 優   |
| 特選 | 大根占小学校 | 4年 | 井上 慧   |
| 入選 | 大根占小学校 | 2年 | 押領司 真菜 |

## 特別賞 鹿屋税務署長賞 田代中学校 3年 笹貫 聖瑠

「みなさん、ありがとう」

田代中学校 3年 笹貫 聖瑠

「消費税がなければ、もっと好きなものを買えるのに」自分のおこづかいで、大好きな本を買うときにもいつも思う。母にそのことを話すと母は、「消費税を払って聖瑠も誰かの役に立ったね」と言った。そして、学校で使っている教科書や机、イス、校舎も税金が使われていることを教えてくれた。さらに、我が家は父が亡くなり、母がひとりりで私たち兄妹を育てている。こういったひとり親の家庭は、「ひとり親家庭医療費助成」というものに医療費を助けてもらっている。「ひとり親家庭医療費助成」とは、ひとり親の親と児童(十八歳まで)の医療費の一部を助成する制度のことである。これも、税金が使われている。

私たちが小さい頃は、よく熱が出て病院に行くことが多かった。母子家庭では医療費も何もかもが、家計に大きな打撃を与える。だから、この制度に本当に助けてもらってありがたいことだと母は話した。たくさんの人たちから集められた税金が、私たちの生活の支えとなっていたことを知って、なんだか胸が熱くなった。

税金とは、大人の世界のことのように思っていたけど、実は税金と私はつながっていて、そして私の生活が成り立っている。たくさんの人たちに支えられているのだと思った。たかさんのひとたちに感謝の気持ちでいっぱい

になった。今までは税金は大人だけが納めているもので、子どもの自分たちには、関係ないと思ったり、消費税は高いなど不満に思ったりしていたが、そのような考えではいけないと思った。これまでたかさんの人たちに助けられ、私たち家族が健康で安心な生活ができたこと、そしてこれからは安心して生きてゆけることは、あたり前のことだと思わずに、感謝の気持ちをもち続け、毎日を通していききたいと思う。

教育の面からも医療の面からも、安心して暮らせるのは税金のおかげ、それを支える日本中の人たちのおかげ。改めて、たかさんの「ありがとう」を感じた。私は今、受験生だ。私には、保育士になりたいという目標がある。今はその目標に向かって、悩みながらも少しずつ前進している。まだしばらくは税金のお世話になる。そして数年後、保育士になって社会人として働くようになったら、今度は私が誰かのために、税金を納めようと思う。未来の誰かのために。

私たち家族が健康で、安全に過ごせるのは、たかさんの人たちが納めてくれた税金のおかげだ。日々忘れることなく感謝の気持ちを持ち続け、目標に向かって一步一步と自分の進むべき道を歩いていくことが、今の私にできる精一杯の恩返しかもしれない。みなさん、ありがとうございます。いつか必ずみなさんに恩返しするために、納税の義務を果たせる大人になります。

